

社会福祉法人 福田会 週次報告書

2023年7月18日 / Vol. 049



ご支援総額

2023年7月11日までの寄付総額

124,356,335 円

寄付金使用総額

3341870.22 zł (約1億25万円)

7/3(月)～7/16(日)の期間中の寄附金使用額

7105.25 zł (約21万円)

7月3日(月)～7月16日(日)の支援活動

食材支援 (毎週金曜日)

一人あたり50złの予算を設け、1週間分の昼食用食材の購入を支援。

7月7日(金) 26家族が参加 合計 3475.14 zł (約10万4千円)

7月13日(木) 25家族が参加 合計 3193.89 zł (約9万6千円)



ミサンガ作り (週二回)

7月上旬、福田会本部スタッフがミサンガ作りに参加している方々の激励を行った。

実際にミサンガを作っている様子を見学し、どのようにしてミサンガを編んでいるかを見せてもらった。

参加者からは福田会支援者の皆様への感謝の言葉も多く寄せられた。



ITビジネス言語 ポーランド語研修 7/4 ~ 8/17まで

独立行政法人国際協力機構（JICA）の後援のもと、ワルシャワに滞在しているウクライナ避難民100名を対象としたITビジネス用語のポーランド語研修を実施。

ウクライナには優秀なIT人材が多く、ポーランドでIT企業への就職を目指すウクライナ人避難民にとって、同研修は非常に需要が高い。

連日多くの問い合わせを受けており、研修の拡大を希望する声も聞かれている。

現地の動向

ポーランド国内における現在のウクライナ避難民の総数

ポーランド共和国国境警備隊によると、ロシアによる侵略が始まった2022年2月24日以降、ポーランドとウクライナの国境を越えたウクライナからの避難民の数は1,320万人を超えた。

報告書によれば、避難民のほとんどを女性と子どもが占めている。

祖国に戻ったウクライナ人の数については、戦争が始まって以来、合計で約1,130万人がウクライナに戻った。

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の統計によれば、ウクライナからの避難民約100万人が、現在もポーランド共和国領内で難民として登録されている。

